

N U K U M O R I

ぬくもり

No.66
2022.2.10発行



富貴寺の南天

基本理念

地域医療への貢献
「肌のぬくもりある医療」の実践

基本方針

- 一、 救急医療充実のため、診療連携の強化に努めます。
- 一、 高度医療の実施、チーム医療の推進に努めます。
- 一、 患者様の立場にたった医療サービスの提供に努めます。
- 一、 職員が働きやすく、誇りを持てる病院を目指します。

肌のぬくもりある医療



私達は笑顔を大切にします

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
TEL.0978-37-2300(代) FAX.0978-37-2307
<http://www.utihp.jp/>



CONTENTS

新年のご挨拶	2
入院支援室開設	4
広域防災拠点訓練に参加	5
BLS研修	5
研修医 地域医療実習	6
医療資源、応援の品々を寄贈して頂き 有難うございます	6
新入職員紹介	7
感染症病床拡充についてのお知らせ	7
外来担当医師一覧表	8

新年のご挨拶



理事長
西村 正幸

新年あけましておめでとうござい
す。令和4年の年頭に際し、コロナ禍
の終息と皆様のご健勝とご多幸をお祈
りいたします。

当医師会病院は、平時には地域医療
支援病院として市中医療機関の診療を
バックアップし、この地域唯一の第二
次救急医療機関として日夜救急患者を
受け入れています。また、感染症の蔓
延や災害など緊急時にはそれらの危機
に即応する病院であります。

平素より、宇佐市及び豊後高田市の
医師会が運営する医療機関をご利用
いただいている皆さんが、より高度な
医療設備と看護体制の整った病院での
診断・治療が必要になった時に、別府市、
大分市、中津市や北九州市など、自宅
から遠く離れた病院に入院された場合、

患者さん本人はもちろんのこと、付き
添われるご家族にも計り知れない負担
が生じると思います。当医師会病院は、
そのような患者さんやご家族のために、
地元の地域医療支援病院としてお役に
立ちたいと思っています。当医師会病院
は、大分大学と九州大学及び大分県か
ら医師の派遣を受けて、派遣元と緊密
に連携し、外科（特に消化器）、循環器科、
消化器内科を中心としたレベルの高い
診療を行っていますので、かかりつけ
の先生に宇佐高田医師会病院の受診を
ぜひご相談してみてください。

昨年の夏には、コロナ禍が始まって以
来、最大の第5波の感染拡大に見舞わ
れ、この宇佐高田地域においても多くの
感染者が出ましたが、当医師会病院が重
点医療機関になり、一般病床36床を新型
コロナ患者専用病床に切り替えて対応
したため、その他の市中医療機関の一般
診療は、なんとか通常通りに行うこと
ができました。発熱患者のPCR検査、
新型コロナウイルスの入院受け入れ、そして
市民へのワクチン接種など、この地域の

新型コロナウイルス対応の多くの部分を当医師
会病院が担ってきました。この地域の医
療機関の診療はコロナ禍の中で大きな
混乱に陥るところでしたが、医師会病院
の存在価値が広く再認識されたと
私は思っています。この医師会病院と地
域医療を守るために、自らの感染のリス
クを承知しながら高い使命感をもって
そこで働く、柏木院長をはじめとするす
べてのスタッフのことを誇りに思い、こ
こに改めて感謝したいと思います。

コロナ禍はまだまだ続いています。当医
師会病院は重点医療機関として本年も、
地域医療を守るために最前線で新型コ
ロナ感染症と対峙します。そのため感染
拡大の折には、一般診療や救急医療の縮
小を余儀なくされ、皆様にご迷惑をおか
けすることもあるかもしれませんが、そ
の節は事情をご賢察いただき、ご容赦い
ただきますようよろしくお願い致しま
す。

併設する地域成人病検診センターで
は、施設内検診（県保協会検診、市町村
職員共済検診、国保ドック、施設ドック、
公立学校・地方職員ドック、教職員検診、
脳ドック、特定検診）、学童検診、巡回
検診を行うことで、宇佐市と豊後高田
の多くの市民の皆様の健康管理に貢献

しています。今年も新型コロナウイルス感染症
の状況を考慮し、利用者の安全確保に
努めながら、検診業務を遂行したいと
思います。感染を恐れて受診をためらっ
たために、重大で深刻な疾病の発見が
遅れるようなことがあつてはいけませ
んのので、毎年欠かさず受診していただ
きますようお願い致します。

この地域の医療と疾病の予防・早期発
見に重要な役割を担っている宇佐高田
医師会病院と地域成人病検診センター
の機能を維持し、さらに機能を増強す
るために、宇佐市医師会は宇佐市と協
力して、両施設の移転・建て替えの準
備作業を進めています。昨年の12月市
議会での移転・建て替えの基本計画を説
明し、これを当医師会病院のホームページ
上に公開しています。本年は移転・建
て替えの早期実現に向けて準備作業を
加速させたいと思います。

地域の皆様の健康管理と疾病からの
健康回復にますます貢献できるように、
今年も医師会及び宇佐高田医師会病院
並びに地域成人病検診センターの職員
一同、鋭意努力いたす所存ですので、地
域のより多くの皆様に両施設をご利用
いただけますよう、どうぞよろしくお
願い致します。

新年のご挨拶



院長 柏木 孝仁

新年明けましておめでとございます。今年もおめでとうという言葉が憚られる新型コロナの状況ですが。

昨年は、新型コロナの暗いニュースばかりだったかと言うとそうでもなく、東京オリンピックが開催され日本は金27個を含む合計58個のメダルを獲得。松山英樹選手がアジア人初のマスターズゴルフで優勝。アメリカ大リーグでは大谷翔平選手が二刀流で大活躍し MVP を獲得。眞鍋淑郎氏がノーベル物理学賞受賞など日本人の輝かしい活躍もありました。

新型コロナは13個目の変異株が確認

されており、これが今のオミクロン株です。当初変異株は最初に見つかった国の名で呼ばれていましたが、偏見につながるとしてギリシャ文字のアルファベットの順番で呼ぶように変わりました。デルタ株のデルタは4番目です。オミクロンとの間に実は8個の変異株が見つかったことになります。

余談ですがギリシャ文字の13番目はニュー（ν）ですが英語のNEWと混同するからととぼし、次のクサイ（ξ）は英語でxiとなり習近平国家主席の苗字と同音となるためにWHOが付度したと噂されています。お陰で、本当は15番目のオミクロンとなり、どこかの国の、自粛自粛でおなじみの新型コロナ分科会の会長の苗字と同じになってしまいました。

当院では昨年末までに300名の新型コロナ患者の入院を受け入れてきました。昨年6月には院内感染が発生し、

患者様や患者ご家族にはご心配とご迷惑をおかけしました。この場を借りてお詫びいたします。

そして宇佐、豊後高田地域の発熱外来も一手に引き受け、延べ約3500回のPCR検査を行ってきました。また宇佐市の新型コロナワクチン接種についても、拠点病院としてワクチンの保管管理、配送、集団接種会場の設営と管理を行いました。今年は3回目のワクチン接種についても同様に当院を中心として、集団接種、個別接種を行う予定です。特に当院ではモデルナワクチンの接種を優先的に行っています。

コロナ騒動に隠れていますが、大災害がいつ起こってもおかしくない状況が続いています。1月早々にトンガ沖で海底火山が噴火し、東南海地震への関連が懸念されています。当院は災害拠点病院、DMAT指定病院であり、大災害時は当院が中心となって地域住民の生命、健康を守る責任を担っており、現在も油断することなく常に対応できるように準備しております。しかしながら施設の老朽化により、災害時

に速やかに対応できない懸念があります。大災害が起きないうちに、次の感染症が拡がる前に新病院への建て替えを完了したいと、自治体と協議を行っています。皆様にも応援のご協力の程お願いいたします。

皆様にとって、今年一年がより良い一年であることを心より願っております。



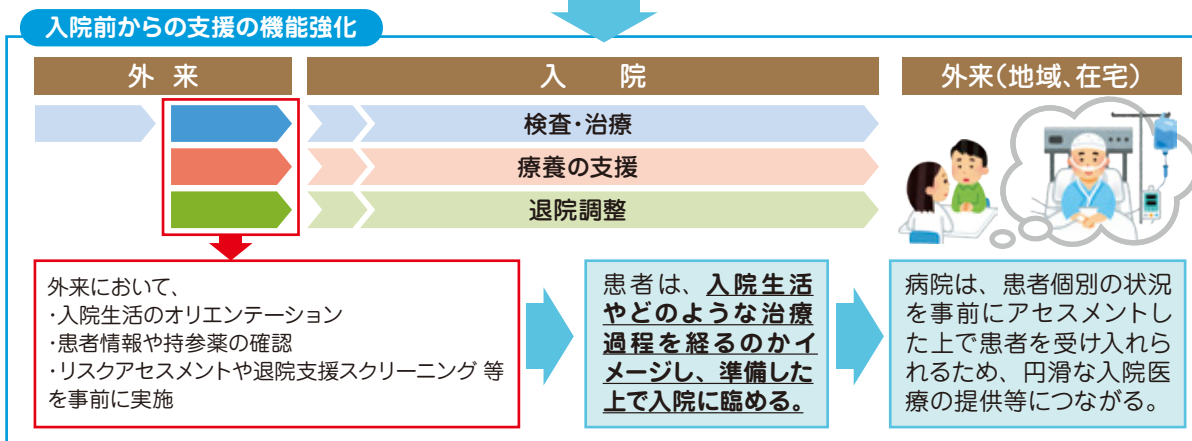
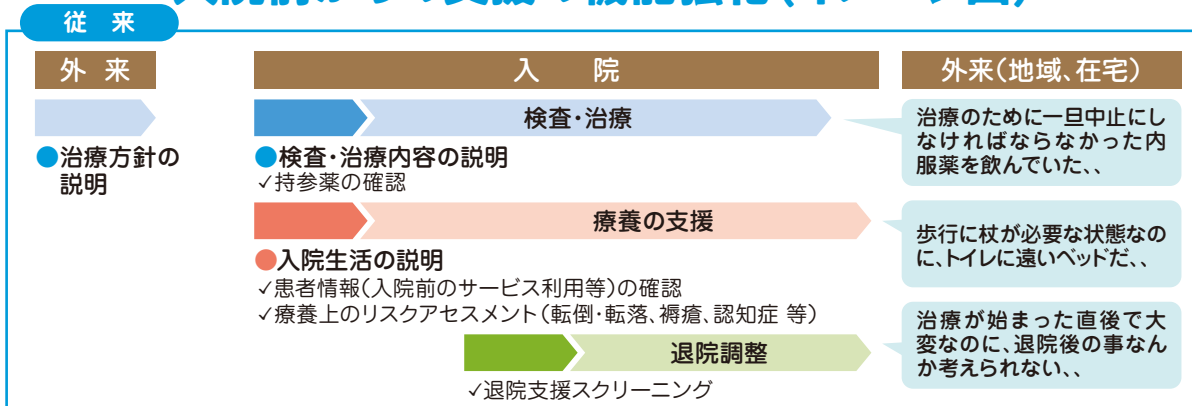
1階に

入院支援室開設



2018年4月からの診療報酬改正で「退院支援」から「入退院支援」と名称が変更され、入院直後からではなく、入院する前から退院に向けた支援がスタートしました。

入院前からの支援の機能強化(イメージ図)



2018年度診療報酬改定1-3 入院支援の推進②

当院では、医療連携室内に入院支援部門として設置され、支援に取り組んでいましたが、今後、さらに入院支援の強化に向けて、2021年11月より、新たに1階に入院支援室（医療連携室分室）を開設しました。

入院支援室の取り組み

- 予約入院の患者様を対象とし、科別の説明用紙に沿って治療・検査・休薬・食事など、丁寧でわかりやすい説明を行うことで、入院後のイメージができ、**安心して入院生活を送れるように**努めています。
- 入院支援看護師は患者様の状態を把握し、入院中や退院後に予測される問題点を明らかにし、**早期から多職種と連携することで退院支援につながるよう**に努めています。
- 入院支援看護師は入院時に病棟まで御案内し、**患者様の不安や緊張の緩和**に努めています。
- 服用中の薬剤について確認し、必要な情報を薬剤師と共有することで服薬指導に役立てています。

入院支援室では、当院の基本理念である「**肌のぬくもりある医療**」を実践し、笑顔で丁寧な対応を心がけています。

令和3年度 広域防災拠点訓練（SCU開設訓練）に参加

令和3年11月13日（土）、昭和電工武道スポーツセンター武道場にて、令和3年度広域防災拠点訓練（SCU開設訓練）が行われました。当院からはチームとして、蔵田救急・診療部長、高丸看護師、稲生看護師、都甲業務調整員の4名で参加しました。

概要 … 南海トラフ巨大地震発生を想定した総合防災訓練。広域防災拠点である大分スポーツ公園内の昭和電工武道スポーツセンター武道場にSCUを設置し傷病者の受入、搬送対応の流れを確認する。

SCUとは … ステージング・ケア・ユニット：広域搬送拠点臨時医療施設。

災害時に、自衛隊基地、空港、公園などの広い平地に臨時の医療施設を設置し、傷病者を自衛隊機やドクターヘリで治療可能な医療機関へ搬送する拠点のこと。傷病者の状態の評価や搬送先・優先順位の決定などを行う。



災害はいつでもどこで発生してもおかしくありません。当院は災害拠点病院・大分DMAT指定病院として、宇佐高田地域災害医療の中心的な役割を担っています。今後も関係各所と連携し定期的な訓練を行い、有事の際に迅速かつ適切な対応ができるよう取り組んで参ります。



BLS研修

令和3年12月1日（水）、今年度と昨年度の新入職員を対象にBLS研修を行いました。

当院では、職員が質の高い胸骨圧迫を行えるよう、アプリを使用し質の評価を行っています。

今後も研修を継続し、どのような状況でも対応できるよう取り組んで参ります。



胸骨圧迫のポイント

有効な絶え間ない胸骨圧迫!!

- ①位置：胸骨の下半分
- ②姿勢：腕は垂直
- ③速さ：100～120回/分
- ④深さ：約5cm（6cmを超えない）
- ⑤圧迫解除

手根部で！

指先は必ず胸壁から離す！



BLSとは … 心停止または呼吸停止に対する一次救命処置。

急に倒れたり窒息したりした人に対して、その場に居合わせた人が、救急隊や医師に引き継ぐまでの間に行う応急手当のこと。



研修医 地域医療実習

厚生連鶴見病院 研修医の淀 怜起（よどりく）と申します。私は2020年3月に大分大学医学部医学科を卒業し、研修医として勤務を始めて2年の月日が経とうとしています。今後は消化器内科医として、より専門的な分野に進み、大分県の医療に貢献していきたいと考えています。今回は地域医療の勉強として、1ヶ月間、宇佐高田医師会病院で研修させて頂きましたのでご報告致します。

本研修中は主に消化器内科の外来診療や内視鏡検査を経験させて頂きました。宇佐高田医師会病院は検診センターも併設しているため、消化器内視鏡の件数が多く、また治療的技術も幅広く施行されているため大変勉強になりました。また、医師同士の距離が近いいため、内科と外科との連携が強く、シームレスな医療が提供されていることが宇佐高田医師会病院の特徴であると感じました。

地域医療研修の主題である「日常生活や居住する地域の特性に即した医療」を経験させて頂き、今後の医師人生において重要なことを学びました。

ご指導頂きました先生方やスタッフの方々のおかげで、大変実りのある研修となりました。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

研修医 淀 怜起

研修期間：2021年12月1日～12月31日

医療資源、応援の品々を寄贈して頂き有難うございます

新型コロナウイルス感染防止対策に関して、多くの医療資源、応援の品々を頂いております。職員一同、温かいご厚意に対しまして心より感謝申し上げます。大切に使用、活用させて頂きます。

今後も感染防止対策を徹底し、安心・安全な医療を提供できるよう尽力して参ります。

病院長 柏木 孝仁



寄贈者	寄贈物	受領日
くれさき循環器クリニック 様	フェイスシールド400枚	令和3年 6月
三和酒類株式会社 様	いいちこ下町のハイボール、 いいちこ下町のハイボール GOLDEN BLEND 計1104本	令和3年 7月
宇佐胃腸内科医院 様	N95マスク500枚（20枚入り25箱）	令和3年 7月
木村 則秋 様	花2鉢	令和3年 8月
宇佐ロータリークラブ 様	フルリクライニング車椅子2台、 リクライニング車椅子（酸素ボンベ架台）2台、 車椅子背折れ式1台	令和3年 9月
安心院フェア実行委員会 様	シャインマスカット10房	令和3年 9月
個人 様	ペゴニア3鉢	令和3年10月



よろしくお願いいたします。 ①入職日 ②所属 ③モットー(一言) ④趣味・特技

新入職員紹介



たけなが まこと
竹永 允

- ①R3.12.1
- ②看護部 看護師
- ③一生懸命頑張ります。
- ④ゴルフ、スノーボー



えのもとかのこ
榎本 佳乃子

- ①R3.12.1
- ②事務部 医事課
- ③日進月歩。よろしくお願いいたします。
- ④映画

新型コロナウイルス感染症患者 入院病床拡充についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症患者の急速な増加に伴い、大分県新型コロナウイルス感染症対策医療調整班（大分県調整本部）及び大分県北部保健所から、重点医療機関として入院病床を現状の4床から36床への拡充要請がありました。

つきましては、令和4年1月17日（月）より要請解除の通知があるまで、医師会病院の一病棟を、新型コロナウイルス感染症患者の受入れ専用病棟として運用しますのでお知らせ致します。

なお、外来診療、救急診療、手術・カテーテル検査・内視鏡検査は通常通りです（空床状況により一時的な受入れ制限あり）。

大変ご迷惑をお掛け致しますが、宜しくご配慮の程お願い申し上げます。

患者様と医療者のパートナーシップ方針

宇佐高田医師会病院では、地域の中核病院として、地域医療に貢献し、医療水準の向上に努めるとともに、心のこもった安心できる医療体制の構築、即ち「肌のぬくもりある医療」の実践を基本理念としています。また患者様との信頼関係を高めるため、患者様と医療者のパートナーシップの確立を重要な事柄とし、患者様参加型医療の確立に取り組んでいます。

患者様の権利

- ・ご自身の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
- ・医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択または断ることができます。
- ・主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオン制度を利用することができます。
- ・ご自身の診療に関する記録などの情報に関して、開示を求めることができます。
- ・個人情報やプライバシーは保護されています。
- ・病院に対し種々の提言をすることができ、医療や看護行為について相談することができます。

患者様へのお願い

- ・ご自身の健康状態や変化は、速やかにそして正確に医療者にお伝えください。
- ・検査や治療などの医療行為は、十分な理解と合意の上で受けてください。書類に署名をしていただくことがあります。
- ・納得できないことや、理解しづらいことは遠慮せずにご質問ください。
- ・メモは遠慮なく取ってください。
- ・安全確保のためいろいろな場面で患者様ご本人の確認をさせていただくことがあります。
- ・薬剤の確認など、自らの医療に積極的に参加してください。
- ・病院の快適な医療環境の維持にご協力ください。

宇佐高田医師会病院 病院長

外来担当医師一覧表

時間帯	科別	月	火	水	木	金	土
午前	循環器	齋藤	篠原	齋藤	矢野	陣林	—
		陣林		陣林(バスマーカー)			
	外科	村上	柏木	蔵田	江上	柏木	—
	消化器	成安	岡嶋	岡嶋	岡嶋	成安	—
	呼吸器	担当医	—	藤島(第2・第4)	—	緒方	—
午後	循環器	—	—	—	近藤 (心力テ検査)	—	—
	外科	—	—	—	(乳腺検査)	—	—
	腎臓内科	宗像(第2・第4)	—	—	—	有馬(第1・第3)	—
	血液内科	—	—	—	幸野(第3)	中山(第2・第4)	—

	氏名	専門領域
循環器科	陣林 伯男	循環器 内科一般
	矢野 雄大	循環器 内科一般
	近藤 克洋(非常勤)	循環器科一般
	篠原 徹二(非常勤)	循環器 内科一般
	齋藤聖多郎(非常勤)	循環器 内科一般
消化器科	岡嶋 智也	消化器科一般
	成安 起彦	消化器科一般
腎臓内科	有馬 誠(非常勤)	腎臓内科一般
	宗像さやか(非常勤)	腎臓内科一般

	氏名	専門領域
外科	柏木 孝仁	消化器外科 下肢静脈瘤 外科一般
	村上 光彦	消化器外科 外科一般
	江上 拓哉	消化器外科 外科一般
	蔵田 伸明	消化器外科 外科一般
呼吸器科	藤島 宣大(非常勤)	呼吸器内科
	緒方 敦子(非常勤)	呼吸器内科
血液内科	中山 俊之(非常勤)	血液内科 内科一般
	幸野 和洋(非常勤)	血液内科 内科一般

●外来受付時間

午前8:30~11:00 (午後の特殊外来は、午後3:00まで受付)
 予約の患者様が優先になります。ただし、急患はこの限りではありません。
 ※当病院は、原則として紹介状が必要です。

●診療時間

午前9:00~12:00/午後1:00~4:00

●休診日

土曜日午後、日曜日、祝日、年末年始(12/30~1/3)

●予約受付時間

平日 午後2:00~5:00

編集後記

明けましておめでとうございます。
 表紙は豊後高田市の富貴寺の南天です。
 南天は「難転：難を転じて福となす」に通じることから、古くより縁起木として愛されてきました。江戸時代には、魔除けや厄除けとして、多くの家に植えられるようになりました。こうした習俗は現在も日本の各地に残っており、玄関、御手洗、鬼門の方角に植えられることが多いようです。
 昨年もコロナ禍で大変な一年でした。まだまだ終息の見通しは立ちませんが、この大きな難が一日も早く去ることを強く願います。

ぬくもり No.66 2022年2月10日発行

宇佐高田医師会病院

〒872-0102 大分県宇佐市大字南宇佐635
 TEL 0978-37-2300(代) FAX 0978-37-2307

ホームページ <http://www.utihp.jp/>

これまでの広報誌「ぬくもり」もホームページで閲覧できます。



- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定 (機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0)
- 第2次救急指定医療機関・災害拠点病院(大分DMAT指定病院)
- 僻地医療拠点病院・大分県HIV診療協力病院
- 第2種感染症指定医療機関(SARS初療機関)
- 大分県重症難病患者医療ネットワーク基幹協力病院
- 協力型臨床研修病院・循環器専門医研修関連施設
- NST稼働施設認定病院
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 肝疾患診療協力医療機関